

ED-005

環境経営レポート

2020年度

(2019年12月～2020年11月)



佐竹特殊鋼株式会社

2021年4月19日発行

1. 組織の概要

(1) 事業所の名称及び代表者

佐竹特殊鋼株式会社
代表取締役 佐竹昌史

(2) 所在地

本社
東京都立川市一番町 4-65-32
電話 042-531-8656

営業本部・物流センター・加工センター
東京都武蔵村山市伊奈平 1-28-4
電話 042-531-8681 FAX 042-531-8684

(3) 事業内容

特殊鋼の素材販売・加工販売
非鉄金属、新素材の素材販売・加工販売

(4) 事業規模

創立 1973年3月30日
法人設立 1974年11月30日
資本金 1,200万円
年商 600百万円
従業員 16人 (パート・非常勤も含む)

2. 対象範囲

(1) 認証・登録範囲

特殊鋼の素材販売・加工販売、非鉄金属、新素材の素材販売・加工販売

(2) レポート対象期間

2019年12月～2020年11月

(3) 活動レポート発行日

2021年4月19日発行

3. 環境経営方針

【基本理念】

佐竹特殊鋼株式会社は、素材販売、機械加工を行う会社として環境に配慮した会社をめざし日々努力していきます。

地球環境保全が、最重要課題の一つであると共に、かけがえの無い地球に住む一員であることを認識し、地球環境を考えた事業活動を全員参加で展開することを基本理念とします。

【環境経営方針】

1. SDGsの目標設定

ゴール5 ジェンダー平等

ゴール7 エネルギー

ゴール8 雇用

ゴール12 持続可能な生産・消費

ゴール13 気候変動



2. 環境経営目標を設定し、定期的にその効果を評価し、必要に応じて見直しを行うと共に継続的改善に取り組みます。

3. 環境関連の法規制を順守します。

4. クレーム削減を徹底します。

5. 3Sパトロールの実施と振り返り

6. 新人教育マニュアルの作成及び実施

7. 採用戦略の立案

8. 展示会への出展による新規顧客の開拓の推進

この品質環境経営方針は、社内外全ての方に周知をする為に、開示します。

制定 2015年2月2日

改定 2019年1月11日

佐竹特殊鋼株式会社

代表取締役

佐竹 昌史

4. 環境経営目標

No.	項目	基準年度実績 (前半期)	2020年度中期目標	2020年度目標	
1	売上高	2014年度 (50) 100 %	2014年度比 145 %以上	2014年度比 130 %以上	
2	顧客クレーム削減による環境負荷の低減	2018年度 クレーム発生 19 件		クレーム発生 7件以下	
3	社内検査不具合発生削減による環境負荷の低減	2018年度 不具合発生 物流センター 3 件 加工センター 3 件 外注 1 件		不具合発生 物流センター 4件以下 加工センター 10件以下 外注 0件	
4	二酸化炭素排出量の削減	排出量	2014年度 (39.3 t) 79.6 t		
		売上高比排出量	2014年度 (78.6t/100) 79.6t/100	2014年度比 85 % 67.7 t/100	2014年度比 90 % 70.7 t/100
5	廃棄物排出量の削減	産業廃棄物	2017年度 820 kg	2017年度比 121.4 % 996 kg	2017年度比 134.1 % 1100 kg
		一般廃棄物	2017年度 1,915 kg	2017年度比 110 % 2,109 kg	2017年度比 135.8 % 2,600 kg
6	紙使用量の削減	使用量	2014年度 (51,295枚) 106,161 枚		
		売上高比使用量	2014年度 (102,590枚) 106,161 枚/100	2014年度比 95 % 100,853 枚/100	2014年度比 80 % 84,929 枚/100
7	製品の環境性能の向上 (RoHS指令への対応)	顧客要求に100%対応	顧客要求に 100%対応	顧客要求に 100%対応	
8	+O ₂ マングローブ 植林プロジェクト			フィリピン市にマングローブ 苗木を植林する	






・電力のCO₂排出係数は、2014年東京電力の調整後排出係数0.496kg-CO₂/kWhを使用。

5. 環境経営計画

No.	項目	2020年度中期目標	2020年度目標	2020年度 活動計画	
1	売上高	2014年度比 145 %以上	2014年度比 130 %以上	新規工場設立に伴い、深耕営業の推進及び新規開拓。展示会への出展をし、新規開拓をする。	
2	顧客クレーム削減による環境負荷の低減		クレーム発生 7件以下	新入社員が多い為、以前の是正処置票の確認を各月のそれぞれの課の会議で行う。	
3	社内検査不具合発生削減による環境負荷の低減		不具合発生 物流センター 4件以下 加工センター 10件以下 外注 0件	毎月の課の会議の中で、是正処置の対策をし、周知徹底させ、同じ間違いの撲滅を目指す。	
4	二酸化炭素排出量の削減	排出量			
		売上高比排出量	2014年度比 85 % 67.7 t/100	2014年度比 90 % 70.7 t/100	売り上げ原単位15%減
5	廃棄物排出量の削減	産業廃棄物	2017年度比 121.4 % 996 kg	2017年度比 134.1 % 1100 kg	新工場併設の効果を出す。木製パレットの共同使用
		一般廃棄物	2017年度比 110 % 2,109 kg	2017年度比 135.8 % 2,600 kg	リサイクル分別の徹底及び購入の過剰梱包に対して、適性梱包の依頼の実施
6	紙使用量の削減	使用量			
		売上高比使用量	2014年度比 95 % 100,853 枚/100	2014年度比 80 % 84,929 枚/100	加工センター新設した為、FAX枚数は0になる。
7	製品の環境性能の向上 (RoHS指令への対応)	顧客要求に 100%対応	顧客要求に 100%対応	・顧客からの要求があった場合、対応する。	
8	+O ₂ マングローブ植林プロジェクト		フィリピン市にマングローブ苗木を植林する		

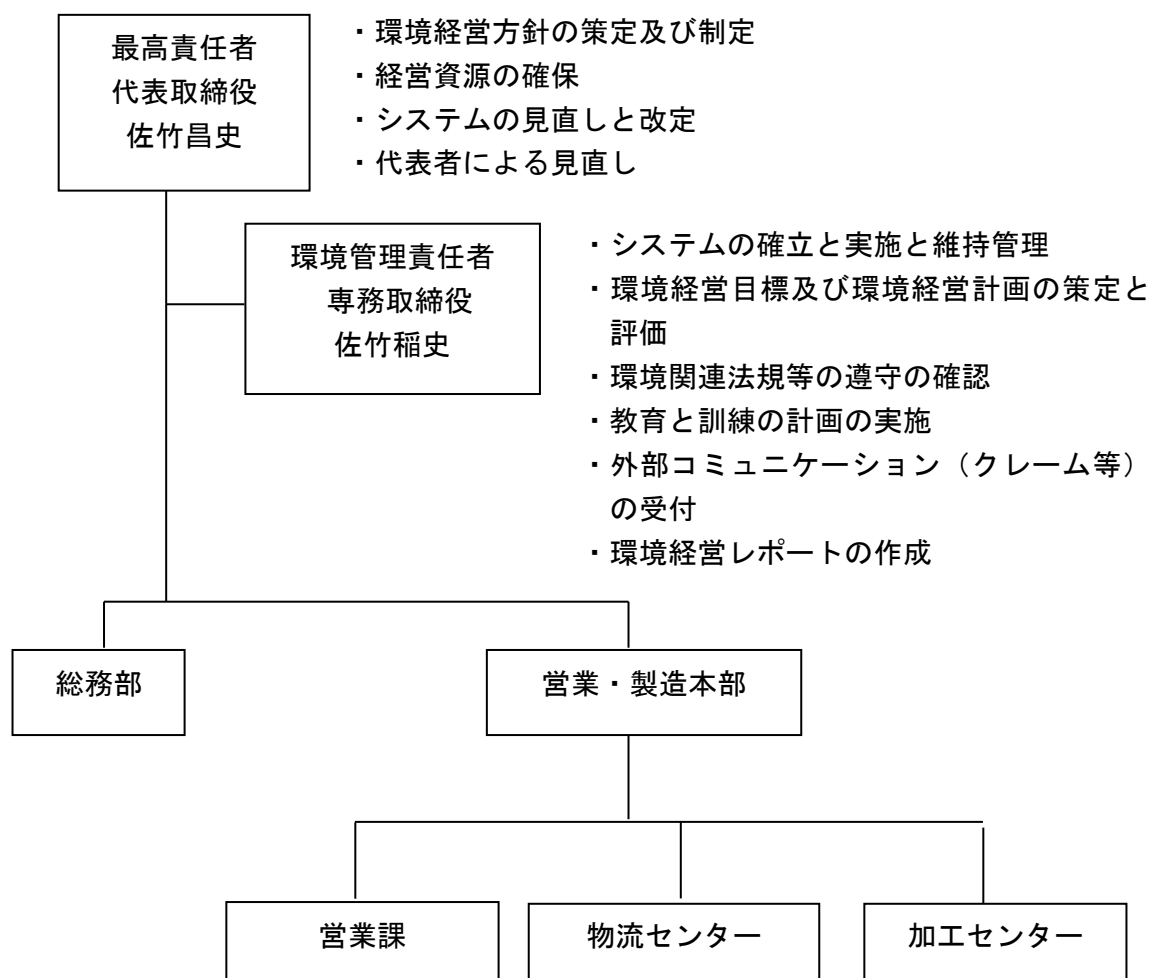
・電力のCO₂排出係数は、2014年東京電力の調整後排出係数0.496kg-CO₂/kWhを使用。

SDGs への活動計画

No.	項目	SDGsゴール	2019年度 活動計画	2019年度実績
1	ゴール5 	ジェンダー平等 女性が働きやすい職場環境の整備 女性雇用の促進	加工センター内に、女性更衣室、食堂、トイレを整備する。 加工センターに女性社員入社させる	加工センター内に、女性更衣室、食堂、トイレを整備した。 女性の制服を新たに変更した。 2020年1月に入社。8月に入社
2	ゴール7 	エネルギー 省エネ等のエネルギー効率の改善	エコアクション21による、環境目標を設定し、省エネルギーの為に具体策をたて、実施(KD-006)	環境負荷を毎月調査、発表し、環境負荷について社員全員に共有
3	ゴール8 	雇用 雇用拡大と教育訓練の拡充 働きがいのある人間らしい仕事の推進	都立産業能力開発センターより、製造における基礎のセミナーを実施 ヤマザキマザックへの加工プログラム研修 新人教育研修への参加(金融機関) ISOにおける個別の能力評価に伴い、1年間の具体的な教育内容作成及び実施	6月より東京都立産業能力開発センターの外部講師を依頼し、加工技術について、月2回実施 パワハラ、アンガーマネジメントセミナーへの参加 金融機関の新人教育セミナーに2名 各部署の教育を実施
4	ゴール12 	持続可能な生産・消費 品質向上によるムダ、廃棄物の削減	是正処置票の是正内容について、各部署の会議の中で、深掘りし、責任者主導のもと、是正内容を課全体で周知する事	加工センターでの週1回品質会議及び月1回の加工センター会議を実施 物流センター、調達課は月1回の会議を実施し、是正内容の共有。
5	ゴール13 	気候変動 エネルギー消費削減による二酸化炭素排出量の削減	加工センター内の照明をLEDにする アイドリングストップの実施 営業所事務所内のエアコンを省エネタイプにする マングローブ植林事業への協力	加工センター内の照明をLEDにした。 アイドリングストップの推奨 営業所のエアコンを変更を実施 マングローブ植林事業への協力

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

● Eco Action 組織図



● 取組内容

・ 売上高について

2014 年度対比 130%以上の目標を掲げ、進めたが、結果は 106%と目標に対して大幅に未達となった。前期は、半導体業界の好調により売り上げを大幅に上げることが出来たが、今期は振るわず、低調だった為、それが数字に大きく影響した。加工センターの新設に伴い、工作機械の増設も含め、高付加価値な加工品の取り込みを重点に置き、展示会への出展による新規顧客獲得を目標に取り組む。

・ 顧客クレーム削減による環境負荷の低減について

設定した目標が、7 件の目標を進めたが、5 件となった。ヒューマンエラーを含め、同じ間違いが起っており、各部署の会議の中で周知徹底をする事で是正処置内容の共有化をする事。

・ 社内検査不具合発生削減による環境負荷の低減について

目標を、2019 年度実績 物流センター 4 件 加工センター 10 件で、2020 年度は実績通

りで設定したが、結果は、物流センター5件 加工センターは21件と物流センター、加工センターともに、目標より多くなってしまった。物流センターは基本的な作業においてのミスなので、自身でのチェックをしっかりと行う事とした。前期、加工センターで多発したプログラムミスは、後期には減少してきた。是正処置内容の共有化と、徹底、外部からの指導を受ける事で、来期の不良率軽減を目指す。

・紙使用量について

2014年度売り上げ原単位80% 84,929枚で目標設定したが、ペーパーレスに努めた成果と売り上げ増により、最終的には77.4%とクリアした。来期は一層の売上増による目標値のクリアを目指す。

・産業廃棄物排出量について

2017年度対比135.8% 2600Kgを目標にしましたが、実績1465Kgとなり、予算対比56.3%目標クリアとなりました。木製パレットを補修し、再利用を徹底したことにより、木くずが大幅に減少した。

・二酸化炭素排出量について

売り上げ原単位で148.9%と大幅アップになった。2019年の加工センター新設に伴い、工作機械の増設による増と、売り上げが減少している為の2つの要因による。

・SDGsの取り組みについて

5つのゴールをピックアップし、具体的な取り組み内容を記載し、事務所、工場に掲示し、周知徹底した。

7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

(1) 環境経営活動計画の取組結果とその評価

No.	項目	2020年度 活動計画	2020年度 前半期 (5月末)		2020年度 年間 (11月末)	
			結果	評価	結果	評価
1	売上高	新規工場設立に伴い、深耕営業の推進及び新規開拓。展示会への出展をし、新規開拓をする。	97.5 %	新型コロナの影響により、新規開拓機会が減少。また、従来顧客の売上げも減少。	106.0 %	新型コロナの影響により、新規開拓機会が減少。前半期、従来顧客売上げも減少。
2	顧客クレーム削減による環境負荷の低減	新入社員が多い為、以前のは正処置票の確認を各月のそれぞれの課の会議で行う。	3 件	プレート業者の製品の傷、打痕での問題があり、サプライヤーでは正処置処置を求めた	5 件	年間を通して、プレート製品の品質の問題が多かった。今後も含め、プレート業者選定を行う。
3	社内検査不具合発生削減による環境負荷の低減	毎月の課の会議の中で、是正処置の対策をし、周知徹底させ、同じ間違いの撲滅を目指す。	0 件 14 件 1 件	加工センターのプログラムの間違いが多発した。自身のプログラム作成を確実にすることを是正処置とした。	5 件 21 件 3 件	加工センターのプログラムミスは減ってきた。物流センターについては、基本的な作業でのミスなので、自身でのチェックをしっかり行う事。
4	二酸化炭素排出量の削減	排出量	59.94 t	新加工センターの新設備及び空調にかかる電力UPの為、増加。	125.61 t	新加工センターの稼働率がUP。それに伴い、空調にかかる電力も上がった為、大幅に増加。
		売上高比排出量	123.0 t/100 156.5 %		118.5 t/100 148.9 %	売上げが2014年とほぼ同等の為、原単位での計算では大幅に増えた。
5	廃棄物排出量の削減	産業廃棄物	175 kg	新工場と木製パレットの共有ができた。例年前期に出る廃油を、本年は後期に出した。	1,515 kg	予算対比137.7%増。加工センターの機械メンテナンスにより、廃油が増加。
		一般廃棄物	795 kg	リサイクル分別の徹底が進んでいる為、減少。	1,465 kg	予算対比56.3%目標クリア。材料仕入時の梱包適正化、リサイクル分別が徹底されている。
6	紙使用量の削減	使用量	42,167 枚	売上げの減少により、紙使用量が減少。	87,081 枚	注文件数が減った為。又、ミルシートや品質データをメールにて受け取る事で、ペーパーレスに努めた為、減少。
		売上高比使用量	86,496.4 枚/100 84.3 %		82,151.9 枚/100 77.4 %	
7	製品の環境性能の向上 (RoHS指令への対応)	・顧客からの要求があった場合、対応する。		特になし		特になし
8	+O ₂ マングローブ 植林プロジェクト			マングローブ 738 本植林達成		マングローブ 807 本植林達成

- ・電力のCO₂排出係数は、2014年東京電力の調整後排出係数0.496kg-CO₂/kWhを使用。

(2) 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

No.	項目	2023年度中期目標	2021年度目標	2021年度 活動計画	
1	売上高	2014年度比 145 %以上	2014年度比 150 %以上	新規工場設立に伴い、深耕営業の推進及び新規開拓。展示会への出展をし、新規開拓をする。	
2	顧客クレーム削減による環境負荷の低減		クレーム発生 5件以下	新入社員が多い為、以前の是正処置票の確認を各月のそれぞれの課の会議で行う。	
3	社内検査不具合発生削減による環境負荷の低減		不具合発生 物流センター 4件以下 加工センター 10件以下 外注 0件	毎月の課の会議の中で、是正処置の対策をし、周知徹底させ、同じ間違いの撲滅を目指す。	
4	二酸化炭素排出量の削減	排出量			
		売上高比排出量	2014年度比 150 % 118.5 t/100	2014年度比 150 % 118.5 t/100	売り上げ原単位15%減
5	廃棄物排出量の削減	産業廃棄物	2017年度比 134.1 % 1100 kg	2017年度比 134.1 % 1100 kg	新工場併設の効果を出す。木製パレットの共同使用
		一般廃棄物	2017年度比 110 % 2,109 kg	2017年度比 65.3 % 1,700 kg	リサイクル分別の徹底及び購入の過剰梱包に対して、適性梱包の依頼の実施
6	紙使用量の削減	使用量			
		売上高比使用量	2014年度比 95 % 100,853 枚/100	2014年度比 80 % 84,929 枚/100	加工センター新設した為、FAX枚数は0になる。
7	製品の環境性能の向上 (RoHS指令への対応)	顧客要求に 100%対応	顧客要求に 100%対応	・顧客からの要求があった場合、対応する。	
8	+O ₂ マングローブ植林プロジェクト		フィリピン市にマングローブ苗木を植林する		

・電力のCO₂排出係数は、2014年東京電力の調整後排出係数0.496kg-CO₂/kWhを使用。

8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、

訴訟などの有無

- 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例
- 騒音規制法
- 振動規制法
- フロン排出抑制法
- 廃棄物処理法
- 労働安全衛生法
- 消防法
- 都民と健康と安全を確保する環境に関する条例

上記法規等について、2020年12月に遵守状況の評価を実施し、特に問題のないことを確認しました。また、外部関係者からの苦情及び訴訟等は発生していません。

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

2020年度の目的目標達成状況については、2月に確認した。2021年度の電力、ガソリン、軽油、紙の使用量については、売り上げ増加を見越して、数値目標の設定をする事。

加工センターに人員の増員、工作機械の増設を踏まえ、電力使用量のUPを考え、また、環境の変化を予想しながら、数値目標を立てる事。

SDGsの目標に対して、今期、具体的な施策を打ち出しているのので、周知徹底及び、全員で目標達成の事。

(2021. 月日)

- ・次期環境経営レポートは、2022年3月発行予定。